

みんなでチェック！

はままつ ごみレポート

(令和6年度実績)

浜松市環境部



ごみ すっぱん
五三 素凡°



ごみ げんぞう
五三 減蔵

1. ごみ・資源物の排出状況

1.1. 排出量等の推移

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比 (R6-R5)	
ごみ	A (D+F)	207,308 t	197,552 t	192,292 t	△5,260 t	
資源物	B (E+G)	18,634 t	18,010 t	16,008 t	△2,002 t	
ごみ・資源物計 C (A+B)		225,942 t	215,562 t	208,301 t	△7,262 t	
内 訳	家庭系	ごみ D	140,448 t	131,760 t	127,891 t	△3,868 t
		資源物 E	12,570 t	12,050 t	11,740 t	△310 t
	事業系	ごみ F	66,860 t	65,792 t	64,401 t	△1,391 t
		資源物 G	6,064 t	5,960 t	4,269 t	△1,691 t
集団回収 H		6,009 t	5,235 t	4,657 t	△578 t	
拠点回収 I		2,144 t	1,934 t	2,505 t	572 t	
ごみ・資源物・集団・拠点 計 J (C+H+I)		234,095 t	222,731 t	215,463 t	△7,269 t	
一人1日あたりの 家庭系ごみ排出量 K		485 g	456 g	446 g	△10 g	
人口 L		793,615 人	789,822 人	785,210 人	△4,612 人	

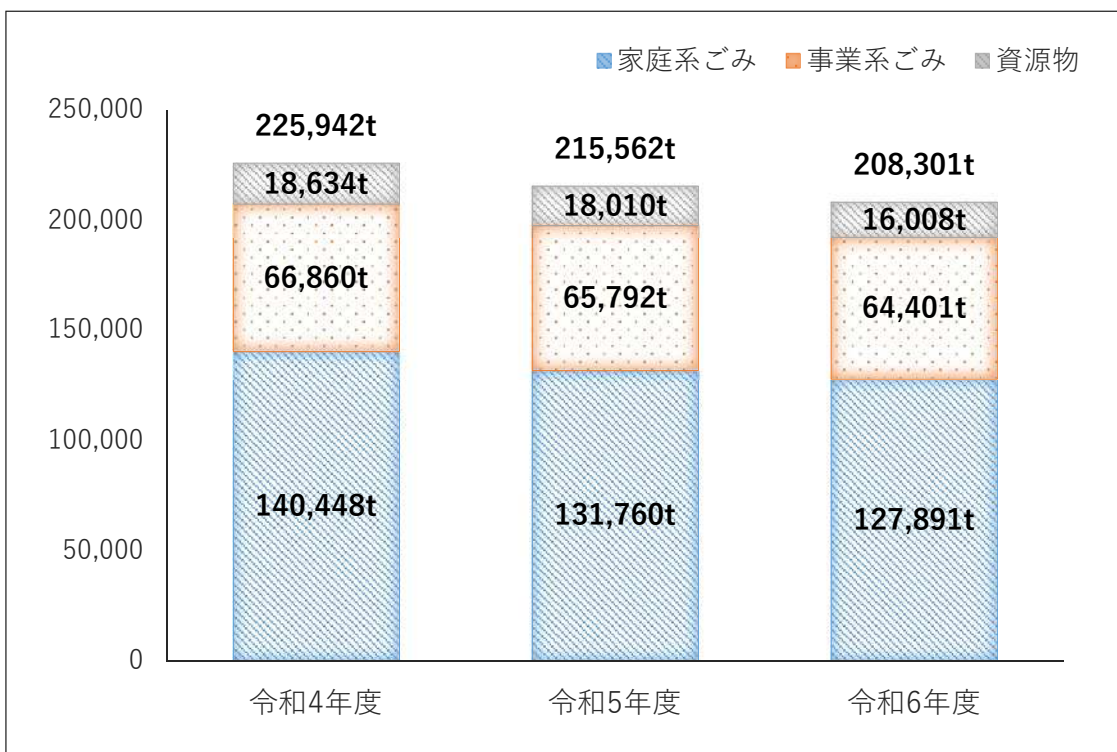
令和6年度のごみ・資源物の排出量は、前年度より約7,000トン減少しました。そのうち家庭系ごみは約3,800トン減少し、一人1日あたりの排出量は446gとなっています。

集団回収量はこの数年、減少しています。一方で、拠点回収量について、令和6年度は増加しています。

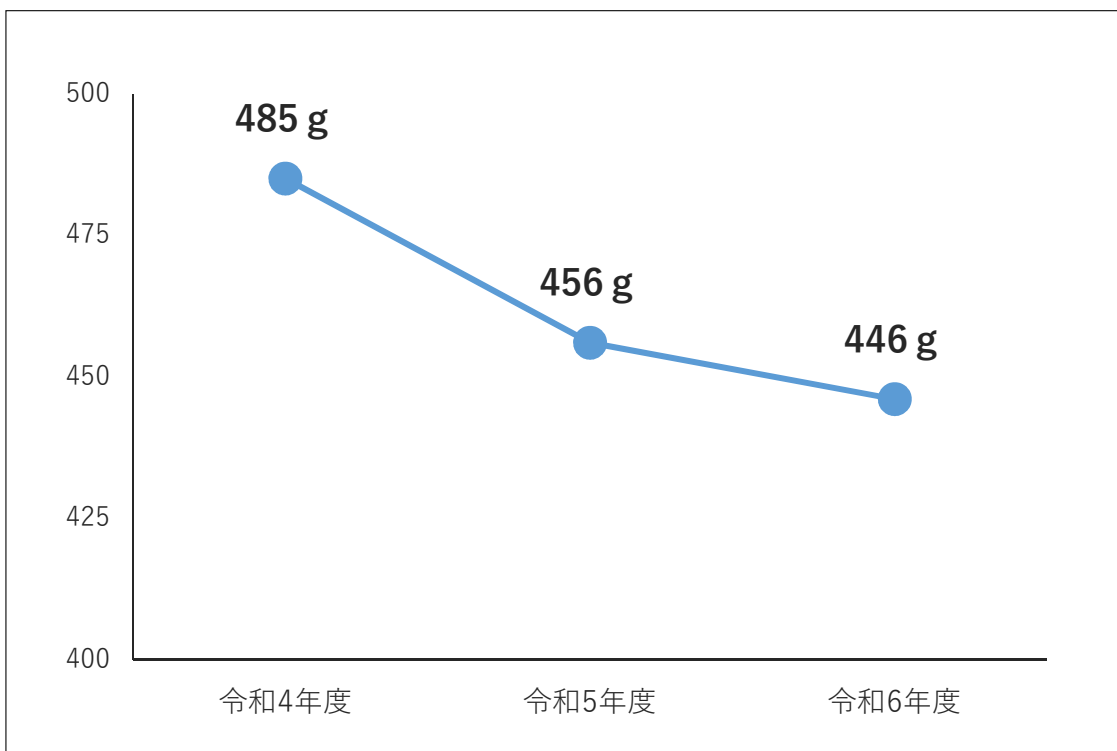
一人1日あたりの家庭系ごみ排出量： $K = D \times 10^6 / L / \text{年間日数}$

人口：各年度10月1日現在の住民基本台帳の人口

ごみ・資源物の総排出量の推移



一人1日あたり家庭系ごみ排出量



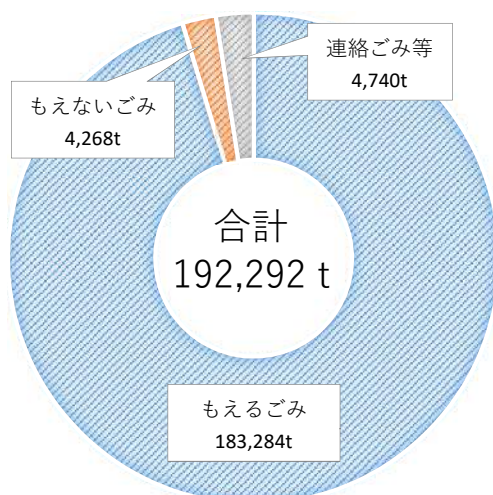
1.2. ごみの排出量

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比 (R6-R5)
もえるごみ	197,109 t	187,908 t	183,284 t	△4,624 t
もえないごみ	5,150 t	4,629 t	4,268 t	△361 t
連絡ごみ等	5,049 t	5,016 t	4,740 t	△276 t
合計 (P.1 の A)	207,308 t	197,552 t	192,292 t	△5,260 t

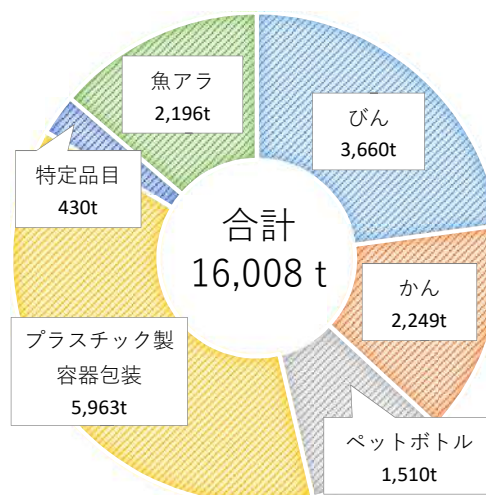
1.3. 資源物の排出量

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比 (R6-R5)
びん	3,981 t	3,835 t	3,660 t	△175 t
かん	2,351 t	2,209 t	2,249 t	40 t
ペットボトル	1,668 t	1,734 t	1,510 t	△224 t
プラスチック製容器包装	6,293 t	6,057 t	5,963 t	△94 t
特定品目	431 t	412 t	430 t	18 t
魚アラ	3,910 t	3,763 t	2,196 t	△1,566 t
合計 (P.1 の B)	18,634 t	18,010 t	16,008 t	△2,002 t

令和6年度ごみの排出量



令和6年度資源物の排出量



ごみ・資源の分別

ごみの減量や資源化、適正な処理をするためには、正しく分別することが大切です。市民の皆さまのご協力をお願いします。

もえるごみ	台所ごみ、汚れの落ちないプラスチック製容器包装、プラスチック製品等
もえないごみ	ガラス、陶磁器類、金属類等
プラスチック製容器包装	プラマークがついているもので、汚れていないもの
びん・かん・ペットボトル	びん（無色・茶色・その他の色）、かん、ペットボトル
特定品目	蛍光管、電池類、水銀体温計・水銀血圧計、ライター、スプレー缶・卓上ガスボンベ、加熱式たばこ・電子たばこ
連絡ごみ	堅固な素材を使用したもの、処理に特別な取扱いを要するもの、壊せない木製家具等で60cm以上の大きさのもの（有料、申込制、戸別収集）



※表中の値について
項目ごとに四捨五入しているため、合計値や前年度との比較が合わない場合があります。

2. ごみの資源化

2.1. 資源化量の推移

品 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比 (R6-R5)
びん a	3,970 t	3,879 t	3,654 t	△224 t
かん b	2,351 t	2,209 t	2,249 t	40 t
ペットボトル c	1,589 t	1,712 t	1,460 t	△253 t
プラスチック製容器包装 d	5,948 t	5,610 t	4,398 t	△1,212 t
破碎後資源 e	1,684 t	1,467 t	1,391 t	△75 t
溶融後資源 f	13,937 t	11,306 t	14,710 t	3,405 t
特定品目 g	383 t	359 t	260 t	△99 t
その他 h	4,205 t	4,064 t	2,429 t	△1,635 t
集団回収 i	6,009 t	5,235 t	4,657 t	△578 t
拠点回収 j	2,144 t	1,934 t	2,505 t	571 t
民間回収 k	33,396 t	30,443 t	34,385 t	3,942 t
合 計 l	75,615 t	68,217 t	72,099 t	3,882 t

そのままではごみとして処理されてしまうものを資源化へ誘導するため、市では資源物の回収拠点の設置や、自治会等による集団回収に協力金を交付する等の施策を行っています。また、市内には民間事業者による回収拠点もあり、官民協働で資源物回収を促進しています。

びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装の資源化量

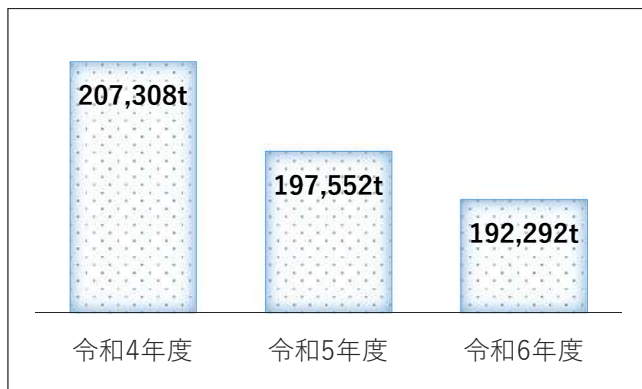
民間の再資源化工場へ搬入し、再生された量を表記しています。そのため、ごみ集積所から回収した量を表記している P.3「1.3 廃棄物の排出量」の値とは異なる場合があります。

3. 計画目標値の推移

令和4年4月に「浜松市一般廃棄物処理基本計画」を改定し、市民・事業者・市の連携により、資源を有効活用する循環型都市を目指しています。

計画期間：令和4（2022）年度～令和10（2028）年度

3.1. ごみ総排出量（もえるごみ、もえないごみ、連絡ごみ等の総量）



目標値

214,378 t
(令和2年度実績)

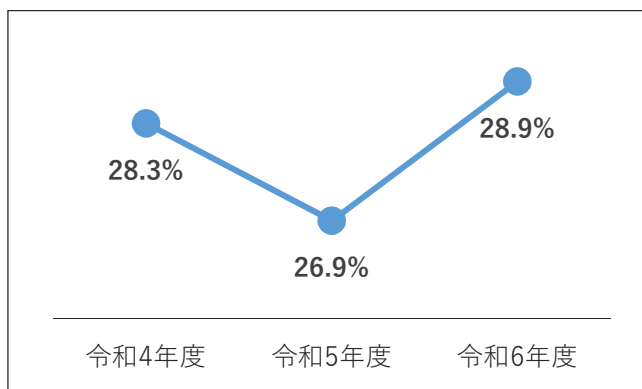
▼
193,055 t 以下
(令和10年度目標)

令和6年度実績値

192,292 t

- 補助指標 ①一人1日あたりの家庭系ごみの排出量
②事業系ごみ部含まれる搬入不適物の混入率
③家庭系食品ロス量
④事業系食品ロス量
- 参考指標 ⑤ごみの処理に係る二酸化炭素排出量

3.2. 資源化率（民間回収分を含めたりサイクル率）



目標値

24.7%
(令和2年度実績)

▼
30.2% 以上
(令和10年度目標)

令和6年度実績値

28.9%

- 補助指標 ①家庭系ごみに含まれる資源物の割合
②事業系ごみに含まれる資源物の割合

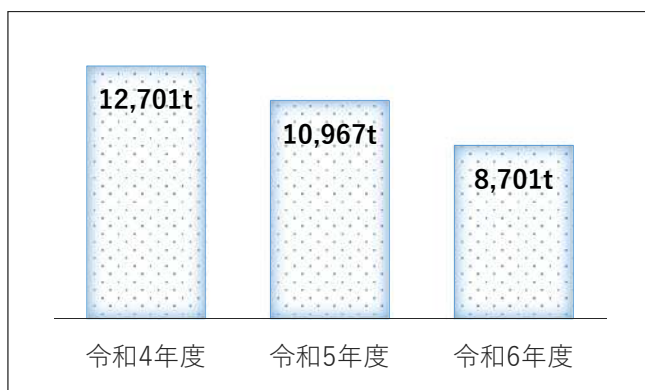
3.2.1. 資源化率とは

収集したごみの中で資源化されたものの割合を『資源化率』として示しています。民間回収した資源物も含めています。

$$\text{資源化率} = \frac{\text{資源化量 P.5 の } \boxed{\text{I}}}{\text{ごみ・資源物・集団・拠点の排出量 P.1 の } \boxed{\text{J}} + \text{民間回収量 P.5 の } \boxed{\text{K}}}$$

$$\text{令和 6 年度実績} = \frac{72,099 \text{ t}}{215,463 \text{ t} + 34,385 \text{ t}} = 28.9\%$$

3.3. 最終処分量（最終処分場に埋め立てるごみの総量）



目 標 値

13,168 t
(令和 2 年度実績)

▼

11,583 t 以下
(令和 10 年度目標)

令和 6 年度実績値

8,701 t

参考指標 ①最終処分場の残余年数

補助指標

計画目標値に対し、具体的な取組みの目標とするもの

参考指標

計画目標値に対し、取組みの結果を表すもの

最終処分場に埋め立てるごみ

衛生工場から排出される焼却灰、西部清掃工場や天竜清掃工場から排出される熔融飛灰処理物、道路側溝汚泥、破碎不適物等

4. ごみ処理経費

4.1. ごみ処理経費の推移

経費区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比 (R6-R5)
焼却	17.4億円	21.1億円	41.7億円	20.6億円
収集	24.0億円	23.8億円	26.9億円	3.1億円
資源物処理	12.6億円	13.4億円	13.6億円	0.2億円
埋立	4.4億円	4.6億円	4.8億円	0.2億円
破砕	3.0億円	3.0億円	1.3億円	△1.7億円
その他	0.8億円	0.8億円	9.9億円	9.1億円
合計	62.3億円	66.8億円	98.2億円	31.4億円

令和6年度のごみ処理経費の総額は98.2億円で、前年度より31.4億円増加しています。部門別経費の内訳は、「焼却」が約42億円、「収集」が約27億円になり、「焼却」「収集」を合わせると全体の7割程度を占めています。

処理経費が増加した主な要因

「焼却」部門

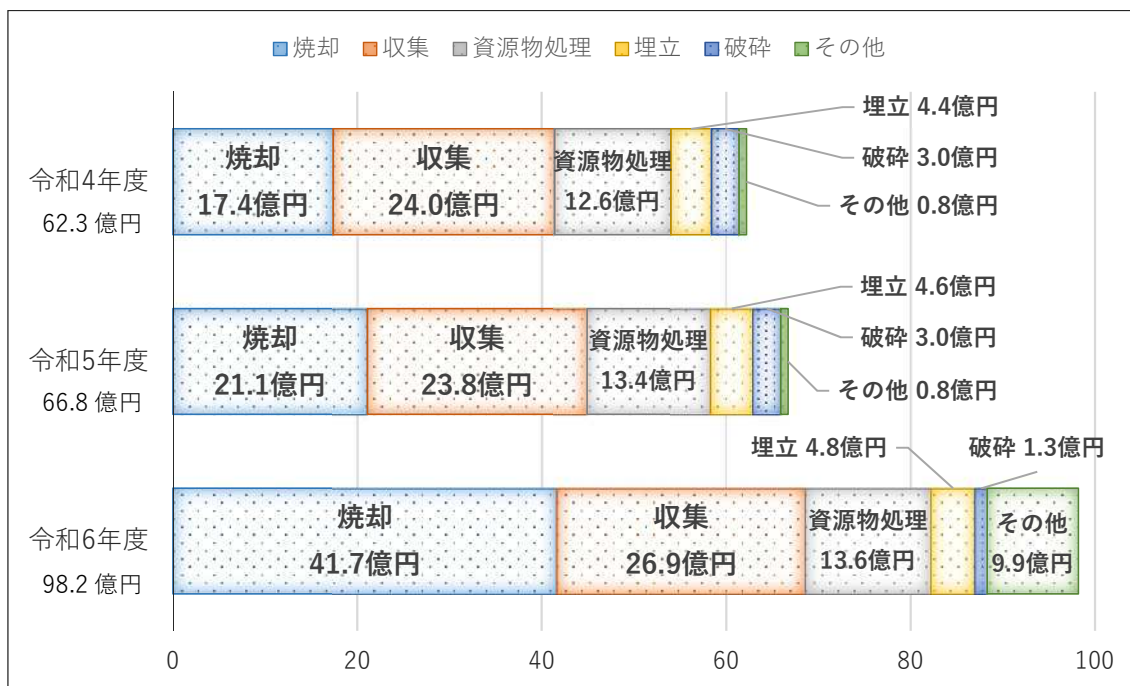
令和6年度から天竜清掃工場が稼働し、新たに整備運営費委託料がかかること、減価償却費が発生したことによるものです。また、西部清掃工場は施設の老朽化により、運営・維持管理業務委託料が増加しました。

「その他」部門

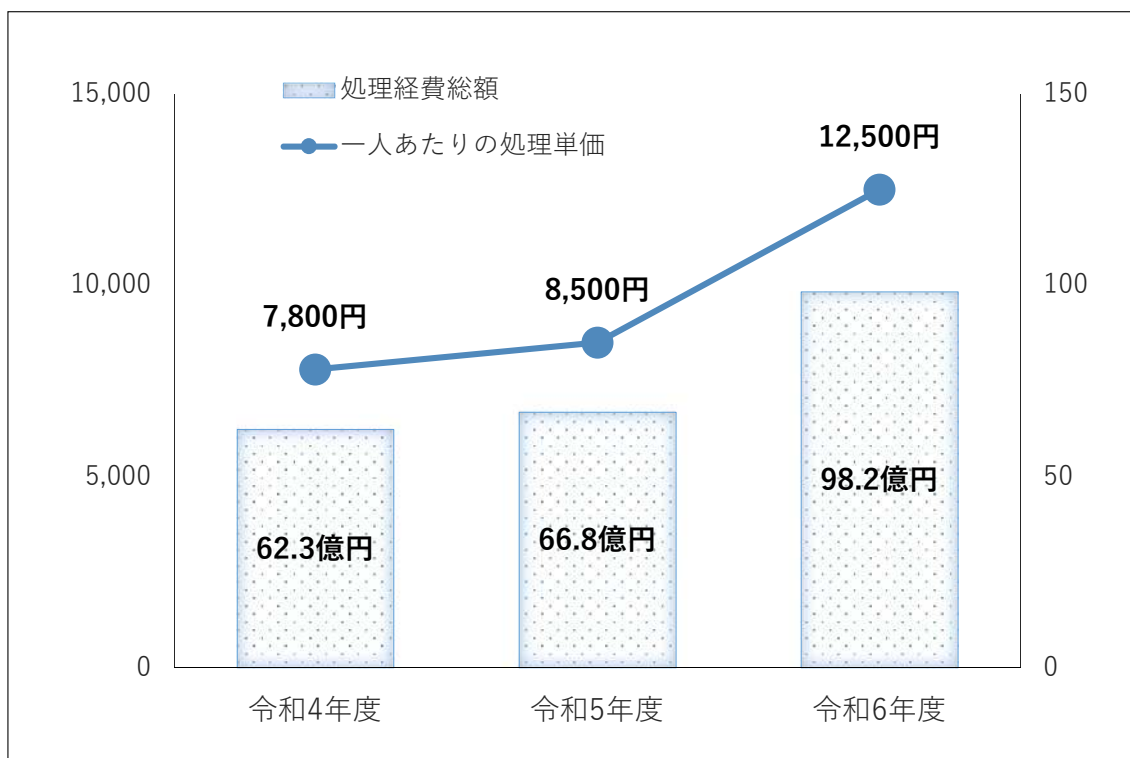
閉鎖施設等を管理するための経費を計上しています。令和5年度まで稼働していた南部清掃工場（焼却）や平和破砕処理センター（破砕）の経費が、令和6年度から「その他」部門へ移動したため、経費が増加しました。

「収集」部門

令和6年度から、家庭系一般廃棄物収集運搬業務が新しい契約に切り替わりました。人件費や燃料費の高騰等の影響で、前回の契約より委託料が増加しました。



4.2. 一人あたりの処理単価の推移



※一人あたりの処理単価 … 処理経費総額を浜松市住基人口で除した値

経費に含まれる要素は、人件費、委託事業者への委託料、物品購入費、建物・設備の減価償却費等です。ごみ処理手数料や売電収入等は控除しています。

浜松市環境部一般廃棄物対策課

〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目 1-10 鴨江分庁舎

TEL : 053-453-6229 FAX : 050-3737-2282